

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 諫早市立長田中学校

実施日 令和 6 年 2 月 2 日(金)

場 所 長田中学校 体育館

講 師 医療法人和光会 出口医院レディースクリニック 出口 晴彦 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1・2) 学年 (65) 人	学校職員 (10) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
-----	------------------------------	------------------	----------------	--------------

テーマ 【 生命の尊さ -産科臨床・性感染症- 】

テーマと内容

・男女のからだ	・避妊
・多様な性	・性感染症
・妊娠と出産	・子宮頸がん予防
・10代の妊娠と人工妊娠中絶	

<当日の様子> ＊事業の様子等を必ず画像で添付してください。←
 ・生徒はメモを取りながら真剣に話を聞き、学びを深めていた。←
 ・妊婦体験や赤ちゃん抱っこ体験に興味を持って参加していた。←



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・講話前は思春期の中学生にとって、性の話は「恥ずかしい」「気まずい」ことだと感じていたようだが、講話後には、生命に直結する大切なことであると考えが変わった生徒が多く見られた。
- ・男女お互いのことや多様な性について学び、相手を大切にしようという気持ちが芽生えた。
- ・講話の内容を自分事として捉え、責任をもって行動すること等、将来の生き方について考える生徒が多く見られた。

【専門医派遣12】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 県立虹の原特別支援学校

実施日 令和5年10月3日(火)

場 所 虹の原特別支援学校 多目的室2

講 師 医療法人 大村中央産婦人科 荒木 裕之 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1~3) 学年 (77) 人	学校職員 (10) 人	保護者 (0) 人	その他 () () 人
-----	------------------------------	------------------	----------------	---------------------

テーマ 【 思春期のこころとからだ 】
 内容(具体的に)
 ・女性と男性の体の違い
 ・妊娠、出産の仕組み
 ・避妊の方法
 ・適切な関係づくり
 ・デートDVと性感染症
 ・ネットトラブルと性被害

<当日の様子>

パワーポイントで絵や図を使いながら、視覚的にも生徒たちに分かりやすい講義をしていただいた。生徒たちは、興味のある内容だけに、うなずきながら聞いたり、メモを取ったりしながら、真面目に聞いていた。また、LGBT についての内容も盛り込んでいただき、共に理解を深められた。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

専門医からの講義で、実体験を踏まえながらの内容であったため、生徒たちも真剣に話を聞き、身近な問題であることを実感できた。一つの命が繋がって生まれたことは奇跡だということを知り、生徒たちからは、この命を大切にしたいとの感想や相手のことも大切にしないといけないことなどの感想が多く聞かれた。また、なかなか周囲の人たちに相談できない内容だが、性の悩みで困ったことがあったときは、一人で悩まずに大人に相談することが大切であると話をしていただいた。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 西海市立大崎中学校

実施日 令和6年2月21日(水)

場所 西海市立大崎中学校 音楽室

講師 医療法人社団 レディースクリニックICHIRO 森 一朗 氏 (産婦人科医)

形態 講話・職員研修・その他()

参加者	生徒 (3) 学年 (33) 人	学校職員 (5) 人	保護者 (0) 人	その他 () () 人

テーマ【 思春期に知っておきたい性と命 】

1 講 話

- ・産婦人科の仕事の紹介
- ・性感染症の実態とその予防方法
- ・外性器と内性器のしくみ
- ・月経と射精、妊娠のしくみ、避妊方法
- ・不同意性交の概要
- ・子宮頸がんワクチンの目的

2 動画視聴

- ・命の誕生(性交から受精、胎児の成長、誕生まで)

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・専門医の立場から、性と命について詳しい講話があった。
 - ・生徒は、とても真面目な態度で臨んでいた。
 - ・生徒の感想文から、自分の体のしくみを科学的な視点をもって捉え直すことができた。
 - ・また、性感染症の危険を回避する方法を知り、慎重に行動することの大切さに気付くことができた。
- さらに、保健体育では学ばなかった内容を「正しく知ることができて良かった」と生徒が肯定的に捉えることができた。
- ・動画視聴では、奇跡のような確率で自分の命がつくれ、そして、力強く生まれ出てきたことを知り、自己肯定感を高めるとともに、親への感謝の気持ちを持つことができた。

【専門医派遣14】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室

実施日	令和5年9月20日(水)			
場 所	鶴南特別支援学校高等部西彼杵分教室 作業室			
講 師	医療法人社団 レディースクリニックICHIRO 森 一 朗 氏 (産婦人科医)			
形 態	○講話 ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (全) 学年 (6) 人	学校職員 (6) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
テーマと 内 容	<p>テーマ 【 思春期の性とからだ 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次性徴 ・月経について(月経のしくみ、月経痛への対処方法について) ・妊娠、出産 ・10代の妊娠と人工妊娠中絶 ・避妊(コンドームの使用方法・低用量ピル・緊急避妊薬について) ・性感染症の症状と予防方法 ・子宮頸がん、ワクチン接種について ・SNSの情報について 			

< 当日の様子 >



< 講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等 >

- ・月経は体からいらぬものを出すのではなく、妊娠に向けての準備であること。
- ・すごい確率で受精し、母親のお腹で育て自分たちが生まれてきていること。
- ・望まない妊娠をしないためには、産み育てられる年齢になるまで性行為しないか正しく避妊をすること。
- ・性感染症は、気付かないうちに相手へうつしてしまうので、予防するためには性行為またはそれに近い行為をしない。コンドームを使用すること。
- ・性に関するSNSの情報は正しいものもあるが、間違っている情報もあるので、気になることがあれば、産婦人科を受診すること。

「初めて知った」という生徒の感想が多くあった。特に、性感染症や避妊についての感想が多く見られた。また、月経痛への対処方法をすぐ実践した生徒もいた。将来の自分たちのため、パートナーのためなど、将来を見据えて考えるきっかけとなる貴重な経験になった。

【専門医派遣15】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 東彼杵町立東彼杵中学校

実施日	令和 5 年 12 月 20 日(水)			
場 所	各教室 (リモート)			
講 師	医療法人 まつお産婦人科 松尾 剛 氏 (産婦人科医)			
形 態	・ <u>講話</u> ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (全) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(151) 人	(20) 人	(0) 人	() 人

テーマと
内 容

テーマ【男女の性と命の軌跡について】内容(具体的に)

- ・思春期におこる男女の性の違いについて理解する。
 - ・卵子と精子の受精と生命誕生の軌跡を知る。
 - ・赤ちゃんの大きさ、10ヶ月までの成長する過程を知る。
 - ・母親と赤ちゃんの繋がりや心臓の音や体内を動画を見る。
 - ・命の尊厳と自分の命を大切にすること。
 - ・中絶をさけるための避妊について(心構え)
 - ・現代の性病の状況を知る。
- (感染症予防の観点からリモート授業に形式を変えることになった。)

当日の様子>



< 講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等 >

男女の違いやお互いを尊重する気持ちを大切にしてほしい。時代の流れで多様性LGBTQについても触れられた。また自分の命を無駄にしないことや産まれたことは3億分の一の命を輝かせて人生を送ってほしい。誕生日は親戚みんなが笑顔になる素敵な瞬間で、みんなが「おめでとう」と言ってくれる日ではあるが、みなさんの誕生日は親に感謝する日にしてほしいと指導助言があった。生徒は真剣に話を聞いて、感想を読むとこの言葉が心に染み渡り生きていくことに希望と固い意志が感じられた。専門医の講話は説得力を感じた。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立佐世保工業高等学校

実施日 令和 5年 9 月 22 日(金)

場 所 長崎県立佐世保工業高等学校 第一体育館

講 師 医療法人佐世保晩翠会 村上病院 鎌尾 聡子 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (全) 学年 (630) 人	学校職員 (20) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
				(0) 人

テーマ【 あなたらしく生きるために 】

内容(具体的に)

- ・LGBTQ (性の多様性)
- ・二次性徴と月経 (からだの変化、月経前後の症状、月経困難症)
- ・妊娠と避妊 (妊娠期間、人工妊娠中絶、ピル、緊急避妊法)
- ・性感染症 (性感染症の種類、避妊具の有効性)
- ・HPV ワクチン

<当日の様子> *事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・事前に性に関するアンケートを実施し、生徒が知りたいと回答した項目を中心に
- ・LGBTの当事者は、日本人の8.9%と身近であることを知り、誰にとっても過ごしやすい環境づくりが必要であり、そのために自分たちの意識から変えていきたいと答える生徒が多かった。“心の性”を優先する大切さを教わった。
- ・講演後の感想文では、「月経」について深く話を聞いたことのある生徒が少なく、月経前後の女性のからだの変化や、月経困難症などについて知り、身近な女性たちを支えるために、自らできることをやっていきたいと答える生徒が多かった。

【専門医派遣17】

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立佐世保商業高等学校

実施日 令和5年12月7日(木)

場 所 第1体育館

講 師 東島レディースクリニック 東島 博 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1・2・3) 学年 (457) 人	学校職員 (50) 人	保護者 (0) 人	その他 (0) (507) 人
-----	---------------------------------	------------------	----------------	---------------------------

テーマ【 思春期の心と体 】

内容(具体的に)

- ・思春期って何だろう、性って何だろう
- ・妊娠と出産
- ・子宮頸がんワクチン
- ・男の子の体
- ・LGBTQについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

ほとんどの生徒が「理解できた」と回答し、大変すばらしい講話であった。

本校は大半を女子生徒が占めるので、子宮頸がんや子宮頸がんワクチンについての説明は、生徒の関心が高く、今後自分でも調べて行動しようという意見が多く出た。また、男子でもワクチン接種ができるということもわかり、男子生徒の勉強にもなった。性に関する正しい知識を得ることができた。

LGBTQについての説明もあり、多様化する性について生徒は今一度考える時間を持つことができた。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保特別支援学校北松分校

実施日	令和5年10月19日(木)			
場所	佐世保特別支援学校北松分校(高等部)			
講師	医療法人TOG つきやま産婦人科 築山 尚史氏 (産婦人科医)			
形態	・講話 ・ 職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 () 学年 () 人	学校職員 (19)人	保護者 ()人	その他 () 人
	テーマ【 どのように伝えるか、身体と心の大切な話 】 内容(具体的に) ・性教育における問題点、性教育とは？ ・学習指導要領の実際、歯止め規定とそれに対する文部科学省の考え ・妊娠・出産を取り巻く環境と問題点(様々な症例をもとに) ・望まない妊娠を避けるために(避妊方法・緊急避妊薬など) ・卵子の老化 ・性感染症について ・子宮頸がんワクチンについて ・多様な性(性別違和、性同一性障害、LGBTQ)の基礎知識			

<当日の様子>

高等部職員は会場参加、敷地の離れた小中学部職員にはオンライン配信のハイブリット形式で実施

どのように伝えるか、
身体と心の大切な話

QRコード

長崎県立佐世保特別支援学校北松分校 (高等部) 職員様 2023.10/19
医療法人TOG つきやま産婦人科 院長 築山尚史

TOG つきやま産婦人科



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

性教育における問題点として、歯止め規定があるため、学校教育で生徒の理解が進まない。適切な内容の継続的・段階的な教育体制が不十分であるのが現状である。具体性のない教育では、生徒は理解できない。理解できなければ、行動は伴わない。理解できない授業は記憶にも残らない。

これまでの性教育の在り方は変わる時期に来ており、教育の現場においても親や教育者が問題点を理解しないと、進まない。生徒とともに、性について考えていく教育体制の構築こそ必要である。

発達段階に応じて段階的かつ系統的に教えることの重要性を実感する職員の感想が多かった。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保市立山澄中学校

実施日	令和5年7月6日(木)			
場 所	山澄中学校 体育館			
講 師	医療法人佐世保晩翠会 村上病院 鋳尾 聡子 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 () ・職員研修 () ・その他 ()			
参加者	生徒 (3) 学年 (91) 人	学校職員 (6) 人	保護者 (0) 人	その他 () 人
	テーマ【 性について学ぼう～あなたらしく生きるために～ 】 内容(具体的に) ・月経について(ひどい月経痛や月経前症候群、無月経など) ・妊娠について(妊娠の素晴らしさ、希望しない妊娠をした時にどうすれば良いか、避妊法やアフターピル、人工妊娠中絶も含めて) ・性感染症について ・HPVワクチンについて ・LGBTQについて			

< 当日の様子 >



< 講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等 >

講師からは、始めに男子と女子の2次性徴についての話がありました。月経困難症の7割はやせすぎだが太りすぎも原因にあげられること、ほどよい栄養、睡眠や運動が大事という指導があり、生徒は自分や異性の性に関する知識や理解を深めることができました。妊娠の話では、望まない妊娠から中絶をするときのタイムリミットや、身近な大人に早く相談する事、それができない場合は相談センターがあることの助言がありました。中絶や退学しなければならなかった話では、相手の気持ちを尊重することと将来の夢のために大事なことを優先して考えようといった生徒の感想もありました。性感染症の話ではクラミジアや尖圭コンジローマの写真や症状について具体的な症例を挙げられ、生徒はより身近なものとして考えることができ、知らないうちの感染してしまうことの怖さと予防の大切さを感じているようでした。LGBTQの話では、左利きと同じ割合でいることを話され、生徒は自分の周りにも存在するLGBTQの人を傷つけないように言動に気を配ろうといった意識を高めたようでした。最後に、子宮頸がんの話では、70人に1人がかかる20代に多い身近な病気であるが、ワクチンを接種して予防できることと子宮頸がん検診をうけることで早期に発見し治療ができるといった助言があり、女子生徒は予防接種の案内が自宅に届いているので保護者に相談して接種をしたいといった感想が多く聞かれました。

生徒は、教科書や授業で習うことと合わせて、専門家より実際に体験されている話を聞くことで、より理解が深まり、自分の事としてとらえることができたように思います。

令和5年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 佐世保市立崎辺中学校

実施日 令和 5年 7月 20日(木)

場 所 佐世保市立崎辺中学校 体育館

講 師 産科・婦人科東島レディースクリニック 東島 博 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1・2) 学年 (143) 人	学校職員 (10)人	保護者 ()人	その他 () ()人
-----	-------------------------------	-----------------	-------------	--------------------

テーマ【 思春期の性について、思春期のこころとからだ 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)
 ・産婦人科医の仕事
 ・二次性徴について
 ・月経について
 ・妊娠と出産
 ・子宮頸がん

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

月経は 15 歳までにこない場合は産婦人科を受診したほうがよい。また、月経痛がある生徒は、無理をせず薬を飲んで寝ていると痛みが軽減する。相談をすることが大切。

妊娠や出産、子宮頸がんについては女性だけに関係することではなく、男性にも関わっていることである。

子宮頸がん、毎年多くの方が亡くなっている。20代から子宮頸がんが増えているが、ワクチンによって予防できたり、検診で早期発見できたりする。ワクチンは、小6～高1はキャッチアップにより無償で受けることができる。

感想では、「子宮頸がんについて考えていきたい」「将来異性を大切にしたい」「関係ないと思っていたけれど他人ごとではない」というなどの意見があり、生徒が性や命について必要な知識を得て、これからの生活について考える良い機会となった。